

授業プランシート (例)

淡海市立 琵琶湖小学校 第 6 学年 指導者名 滋賀 太郎

単元名 We Can!2 Unit2 Welcome to Japan 日本へようこそ

1. 単元目標(児童生徒に付けたい力、示す単元のめあて)

他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合うことができる力

2. 単元の見取りの活動

友達に自己紹介で自分の好きなことやできることなどについてのインタビュー活動

3. 単元計画(全 8 時間)

	本時の目標(今日のめあて)	中心活動(・は誌面化されている活動)	評価する領域
1	それぞれの行事でどんなことが楽しめるかを聞いたり言ったりすることができる。	○ゲーム(Tree-hint Quiz、ポインティングゲーム)	聞く ウ
2	日本の行事について、行われる季節とそれがどのような季節かについて言うことができる。	○どの季節にどの行事や祭りをするか考えて言う。	話す(や)イ
3	食べ物とその味覚などについて話を聞いて、その内容が分かったり、言ったりすることができる。	・Let's Listen 2(P13)	聞く ウ
4	日本の食べ物について、味覚やその食べ物に関してできることを話す。	○マッチングゲーム(好きな食べ物とその味覚、その食べ物に関してできることを話す)	話す(や)イ
5	日本の遊びについての話を聞いて内容が分かる。好きな日本の遊びについて伝え合うことができる。	○Let's Talk(行事の紹介)	話す(や)イ
6	好きな日本の食べ物について伝え合うことができる。	○Let's Talk(日本の食べ物の紹介)	話す(や)ウ
7	紹介したい日本文化について、その名称や特徴などを表す語を、例を参考に書くことができる。	・Activity(P16)(ポスター作り)	書く イ
8	日本の行事、食べ物、遊びなどを紹介したり、例を参考に書いたりすることができる。	・Activity(P16)(発表)	話す(発)イ

4. Small Talkの内容

1. 好きな季節とその理由 3. 好きな日本の行事とその理由
7. 好きな/見てみたい日本の伝統芸能・文化とその理由

5. 単元の評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価内容	日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。	日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりすることができる。	他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとすることができる。

第(6)時 評価する領域(話すこと(やり取り))

6. CAN-DOリスト(話すこと(やり取り)) レベル(②)

自分や相手のこと、身の回りの物について、基本的な表現を用いて、その場で尋ねたり答えたりすることができる

7. 児童生徒の自己評価(ルーブリック式評価)

	A	B	C
評価内容	好きな日本の食べ物についてほぼ完璧に自分のことや相手のことを伝え合うことができた	好きな日本の食べ物について自分のことや相手のことをだいたい伝え合うことができた	好きな日本の食べ物について自分のことや相手のことを少し伝え合うことができた

8. 本時の目標(児童生徒に示す今日のめあて)

好きな日本の食べ物について伝え合うことができる。

9. 本時の中心となる主な活動の設定

Task・・・何ができるようになるのか Text・・・話題、内容 Condition・・・支援 Quality・・・英語の質

Text	Condition	Quality	Task
自分や相手の好きな日本の食べ物について	モデル文を参考に	既習表現や新しい表現を使って	伝え合うことができる

10. 授業計画

時間	児童生徒の動き	T1の動き・支援	T2の動き・支援	評価
Warm-up	○ P13 Let's Chant デジタル教材に合わせて言う	○デジタル教材を操作し、児童と一緒にChantを言いながら進行する	○児童の様子を見ながら言えていない児童の支援をする	
導入	○P15 Let's Watch and Think ①テキスト閉じて ②テキスト見ながらメモを取る ③映像資料を視聴	○デジタル教材を操作しながら進行する	○児童の様子を見ながら、必要に応じて支援する	○聞くこと
展開	○指導者の紹介を聞き、自分が紹介したいことを考え、ペアで対話する ○P16 Let's Read and Write 音声聞きながら読んで後、ワードボックスから言葉を選んで書き写す	○好きな日本の食べ物の紹介を中学校で学習する表現を交えながら行い、その後の進め方を説明した後、必要に応じて児童の支援をする ○デジタル教材を操作し、活動の方法を説明する。その後、必要に応じて児童の支援をする	○好きな日本の食べ物の紹介中学校で学習する表現を交えながら行い、必要に応じて児童の支援をする ○ワークシートを配付した後、必要に応じて児童の支援をする	◎話すこと ○書くこと
終末	○振り返りシートの記入	○本時に行った活動について振り返る	○必要に応じて児童の支援をする	

11. 指導者の感想

今日の授業で、児童は中学校で学習する表現も使って好きな日本の食べ物についての紹介をすることができた。児童も、上手に紹介することができていたので、次は、ジェスチャーしながら話したり、相手の話に反応できるよう、毎時間の最初にinputをしながら話に反応することを指導者が実際にやって見せたり練習する時間がもてるよう工夫していきたい。